

【広島市消費者物価指数】

1 平成22年3月の動向

- 広島市総合指数（99.9）は前月と同水準。前年同月比は12か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.2）は前月比で2か月連続の上昇（0.1）。前年同月比は12か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.3）は前月比で2か月連続の上昇（0.2）。前年同月比は12か月連続で下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.9	0.0	▲1.5
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数	100.2	0.1	▲1.5
食 料（酒類を除く）及び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合 指 数	98.3	0.2	▲1.2

3 前月からの動き

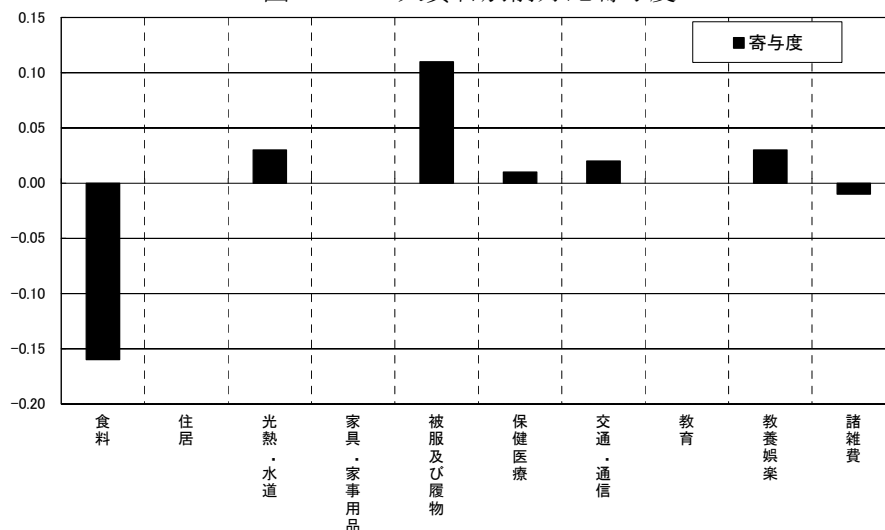
～被服及び履物が上昇。食料が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.9	102.3	100.8	105.1	84.7	101.3	97.6	98.6	106.0	93.1	101.4
前月比 (%)	0.0	▲ 0.6	0.0	0.5	0.1	2.3	0.2	0.1	0.0	0.3	▲ 0.1
寄与度	0.02	▲ 0.16	0.00	0.03	0.00	0.11	0.01	0.02	0.00	0.03	▲ 0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目
 食 料 : 野菜・海藻（前月比 ▲3.5%，寄与度▲0.09）等
 被服及び履物 : 洋服（前月比 4.4%，寄与度 0.10）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
洋服（婦人スーツ〔春夏物〕等）	4.4%	野菜・海藻（ねぎ等）	▲3.5%
魚介類（かつお等）	2.5%	肉類（牛肉〔国産〕等）	▲3.0%
教養娯楽サービス（外国パック旅行等）	0.7%	菓子類（ケーキ等）	▲2.1%
ガス代（都市ガス代等）	1.7%	シャツ・セーター類（婦人セーター〔長袖〕等）	▲2.4%
履物類（婦人靴等）	6.5%	家事用消耗品（洗濯用洗剤等）	▲3.3%

4 前年同月からの動き

～食料、光熱・水道が主な下落要因で、12か月連続の下落。交通・通信は上昇～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲1.5	▲1.9	0.1	▲7.5	▲4.6	▲2.2	▲1.4	1.8	0.6	▲3.2	▲1.1
寄与度	▲1.50	▲0.51	0.02	▲0.54	▲0.15	▲0.12	▲0.06	0.24	0.03	▲0.33	▲0.07

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

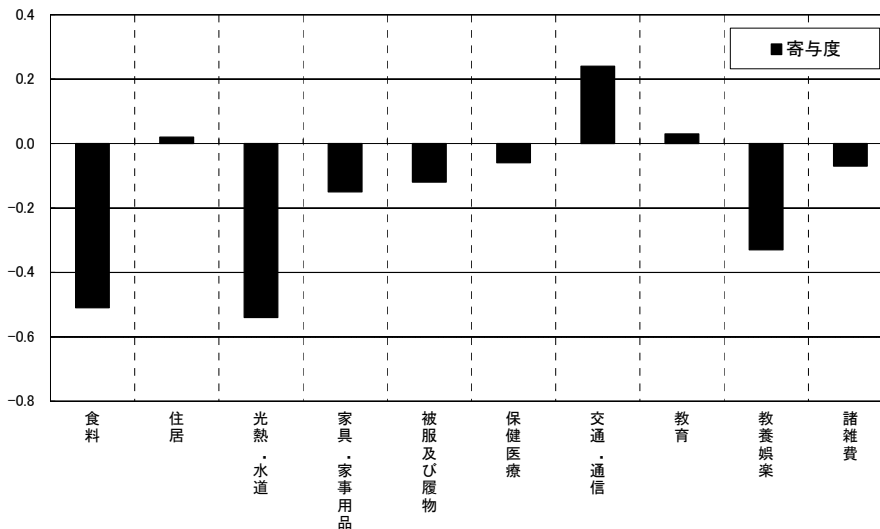
食 料 : 肉類（前年同月比▲5.5%，寄与度▲0.13）等

光 熱 水 道 : ガス代（前年同月比▲14.2%，寄与度▲0.34）

電気代（前年同月比▲8.3%，寄与度▲0.26）等

教 養 娯 楽 : 教養娯楽用品（前年同月比▲7.3%，寄与度▲0.17）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
自動車等関係費（ガソリン等）	4.7%	ガス代（都市ガス代等）	▲14.2%
他の光熱（灯油）	18.4%	電気代	▲8.3%
履物類（婦人靴等）	6.6%	教養娯楽用品（ペットフード〔ドッグフード〕等）	▲7.3%
設備修繕・維持（浴槽等）	0.7%	肉類（肉類〔国産〕等）	▲5.5%
授業料等（専門学校授業料等）	0.6%	調理食品（冷凍調理コロッケ等）	▲3.3%